

キャラメルと飴玉

夢野久作

青空文庫

キヤラメルと餡玉あめだまとがお菓子箱のうちで喧嘩をはじめました。

「ヤイ、餡玉の間抜け野郎。貴様はまん丸くて甘つたるいばかりで何にもならないじやないか。俺なんぞ見ろ。ちゃんと着物を着て四角いおうちにはいつているんだぞ。貴様なんぞは着物なんか欲しくたつて持たないだろう。態さまをみろヤーイ」

餡玉は真赤になつて憤り出しました。

「失敬なことを言うな。うちにいる時は裸だけど、外に出る時にやちやんと三角の紙の着物を着て行くんだ。第一貴様の名前が生意氣だ。キヤラメルなんて高慢チキな面をしやがつて、日本にいるのならもつと日本らしい名前をつける」

「こん畜生、横着な事を言う。キヤラメルが悪けりやあカステイラは西班牙スペインの言葉だぞ。シュークリームでもワツフルでも良いが、菓子にはみんな西洋の名前が付いているんだ。あめだのせんべいなど言うのはみんな安っぽい美味うまいくないお菓子ばかりだ」

「嘘つを吐つけ。羊羹なんて言うのは貴様よりよつぽど上等だぞ。コンペイトウは露西亞語ロシア語の名前だけれど、俺よりずつと不味まずいぞ。ウエフアースなんていう奴はいくら喰つたつて喰つたような気がしないじやないか」

「馬鹿を言え。あれでもなかなか身体のためになるんだ。おれなんぞは牛乳が入っているから貴様よりずつと上等だ」

「こん畜生、おれだつて肉桂ニッキが入つてゐるんだ。肉桂はお薬になるんだぞ。貴様の中に牛乳が何合入りやあそんなに威張るんだ」

「何を小癪な」

「何を生意氣な」

とうとう取つ組み合つて、大喧嘩になりました。最前から見物していたキャラメルの仲間のミンツ、ボンボン、チョコレート、ドロップス、飴玉の仲間の元禄、西郷玉、花林糖、有平糖などはソレというので馳け寄つて、双方入り乱れてゴチャゴチャに押し合い掴み合つてゐるうちに、みんなお互ににくつき合つて動けなくなつてしましました。

そこへ坊ちゃんが来てお菓子箱の蓋ふたを取つてみるとビックリして、

「お母さん。大変大変。お菓子が喧嘩をしている」

と叫びました。お母さんもやつて来てこの有様を見ると、

「それ御覧なさい。一緒に仕舞つて置いてはいけないと言つたではありませんか。私がこわして上げるから、お姉さんやお兄さんと一緒におやつに食べておしまいなさい」

と言つて金槌を持つて来て、パラパラと打ちこわしておしまいになりました。

青空文庫情報

底本：「夢野久作全集7」 三一書房

1970（昭和45）年1月31日第1版第1刷発行

1992（平成4）年2月29日第1版第12刷発行

初出：「九州日報」

1922（大正11）年12月7日

入力：川山隆

校正：土屋隆

2007年7月21日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) に作成されました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆様です。

キャラメルと飴玉

夢野久作

2020年 7月18日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>